

## ～看護の日～

近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」です。看護の日は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育み、普及していくために制定されました。5月12日を含む1週間（今年度は5月11日～5月17日）を「看護週間」としています。

当院では、例年、看護の日に合わせてイベントを実施しています。今年度も病院職員から患者さんへのメッセージを正面玄関に展示致しました。「患者さんに寄り添う心を大切に対応します」「笑顔で対応します」など、職員が日頃大切にしている思いを桜の花びらに記しました。職員全員が、より良い医療の提供を誓い、今後も頑張っまいります。



## 旭川医科大学医学科2年早期体験実習

地域医療の現状を把握・理解することを目的に6月11日に旭川医科大学医学科2年生6名が当院を訪れました。

院内の見学のあと、佐々尾副院長から地域における当院の役割など説明を受けました。学生からは診療体制や人材確保、地域の高齢化や老老介護について多くの質問がありました。道外出身の学生も多く、北海道の広範囲な医療体制や地域の状況を知ることができ、今後の学びにつなげていきたいとの声を聞くことができました。

〈編集〉

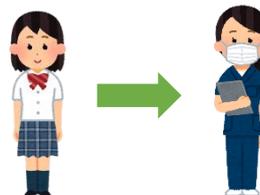
道立羽幌病院  
サービス向上委員会  
院外報部門  
第78号



## 苫前商業高等学校インターンシップ

6月23日～27日の5日間、苫前商業高等学校2年生がインターンシップとして病院で働く看護師の職場体験をしました。

病棟や外来の実際の業務や看護業務の基本的な動作について看護師の指導の下体験した他、病院で働く職業についても興味があるとのことで理学療法士・管理栄養士・放射線技師からも話を聞きました。「将来は人と関わる仕事を希望しているので看護師をはじめ、病院で働く職種について理解を深められたのは良い経験になりました。」との感想をいただきました。



## 退院支援連携会議

6月24日に羽幌町を含む近隣町村の連携機関の皆さまにお越しいただき、地域連携室主催の退院支援連携会議を開催しました。当院感染管理認定看護師による「感染症について」の講義の後、参加された保健師、高齢者及び障害者施設の看護師、介護支援員、ケアマネージャーなど計26名で感染対策としてガウンの着脱訓練を行いました。参加者は暑さの中、ガウンの正しい着用法、正しい脱ぎ方を再確認しました。

地域連携室では今回の会議を含めて、連携機関の皆さまとの連携を深めるため、各種会議の開催や訪問等を実施しています。患者さんや地域住民の皆さまの医療を含む地域の生活に貢献できるよう業務を遂行していきます。

## ☆七夕飾り

今年も七夕飾りを7月1日～8月8日に1階正面玄関に設置しました。短冊に願い事を書いていただくコーナーも設けています。

当院では患者さんに季節感を感じていただくため、季節に応じた飾り付けを行っています。皆さまの願いが叶いますように。



## 患者－医療者パートナーシップ宣言

- 医療の主役は患者様です。
- 私たち医療者は、患者様の病気の診断・検査・治療計画について、十分な説明をします。
- その上で納得して医療を受けられるよう支援いたします。
- わからないことは、何でもお気軽に相談してください。

